

平成 26 年度に事後評価を行った評価結果（概要）について

1. 計画の指標の達成状況は次のとおりとなっている。

評価対象計画数	計画に掲げる指標をすべて達成した計画数	指標の達成が 100% 未満のものがあつた計画数
2	0	2

2. 計画に掲げる指標をすべて達成した地区の、本計画に取り組んだ効果として、次のような実績があつた。

(1) 農村の振興

・該当なし。

(2) グリーン・ツーリズム、都市農業の振興

・該当なし。

(3) 農業生産基盤の整備

・該当なし。

(4) 中山間地域等の振興

・該当なし。

3. 指標の達成が100%未満のものは次のとおりであった。

評価対象計画数	指標の達成が100%未満のものがあった計画数	うち指標の達成が70%未満のものがあった計画数	うち指標の達成が50%未満のものがあった計画数
2	2	2	0

4. 指標の達成が未達成となった主な要因としては、次のような事例があった。

(1) 農村の振興

- ・該当なし。

(2) グリーン・ツーリズム、都市農業の振興

- ・都市との交流による農村の活性化を目指しており、農家民宿及び宿泊施設の宿泊者数について、営業の強化や新たなツアーの掘り起こしなどを行っているが、近年の経済情勢から伸び悩んでいる。このため、旅行会社と連携し、近隣施設とのセット企画や、より魅力ある体験メニューの充実等により宿泊者数の増加に努める。
また、産直市については高齢化により産直会員の減少に歯止めがかからない状況ではあるが、新規会員の確保に努めつつ、観光客のニーズに合った品目の開発、販売に取り組み、集客増を図っていく。

(3) 農業生産基盤の整備

- ・該当なし。

(4) 中山間地域等の振興

- ・新技術の導入による地域資源を活かした農山漁村の振興を目指しているが、主力商品であるいわがきが原材料の確保ができなかったために在庫不足を生じたことや、大口取引先の経営状況の悪化などにより販売額が伸び悩んだため、目標の達成が困難となった。今後は安定的な原材料確保のため、養殖業者、漁業者と連携し増産体制を整えていきたい。また、取引先との連携を密にし、顧客が求める商品の開発や販売力の強化など、さらなる取り組みにより、目標の達成を目指す。

5. 指標の達成が未達成となった計画については、今年度指標が未達成となった要因等进行分析するとともに、「改善計画」を作成し、農政局の指導のもと、県・市町村が連携し、指標達成に向け取り組んでいる。